

「祈りの家に！！」

～神の家を廃墟にしてはいけない！！～

イザヤ56：2～7

■ ①祈りの生活の回復

神の家を廃墟にしてはならない。」イエス様はなぜ教会で物を売っている人達を怒ったのか？それは騙して物を売っていたからである。

[イザヤ 56：2～7] をイエスは引用された。このイザヤ書の書かれている頃からイスラエルは敵国に乗っ取られ始めた。それは神の約束を守らなかったためである。

[ハガイ書 1：4～13]

神殿を建てる事をも諦めてしまった。祈りの家がないからうまくいかないのではないかと。祈りは天の番軍の御使が後押しをする。自分にではなく神に向かって祈る時に奇跡は起きる。つぶやきや不服を思う時、御使達に雲がかかり覆ってしまう。あなたが約束を守ることがルール。心が乱れていたら神は働けない。あなたを通してでなければ神は働けない。祈らず行動すると失敗に繋がる。神は働きたくて仕方がないので。神がおらずに何が出来るか？「何も思い煩わずってはならない」あなたの中から強盗を取りさるのです。イエスが教会で商売をしている人に怒ったのはあなたを騙すやつを叱ったためなのです。神は私達を豊かにしたいと望んでいます。祈りは神との会話である。ですから祈りの生活の回復をしなければなりません。聖霊は御自分の好きなところに吹き、あなたがコンタクト（祈り）を取らなければならない。「恐れるな、あなたと共にいる。」

■ ②神と将来を 押入れに入れるな！

神の前に出る前に諦めてしまう事はやめよう。神はあなたを作り変えるこ

との出来る方。そして、あなたの人生に祝福を持たされるかたである。ですから行動する時には私に聞けとおっしゃいます。人に責任を押し付け神の働きを止めるような事はしてはならない。あなたの中に神がいなければ崩壊してしまいます。ですから、イエス様が前を歩いているか毎日考えて下さい。イエス様のなされた事を行って下さい。

■ ③神様とひとつ、御心を願う

人の欲でなく神の願いを願う。欲は罪ではないが欲を満たすのは神である。「神の国と義を第一」にすればこれらは与えられると約束がある。しかし、神と共にいないと自身の欲を願うようになる。私達の願いとは教会の願いである。神が私達に願う事は私達が何をしても栄えると言う事です。その為にはもっとあなたが神と共にいる事を願う事です。神と共に生きるとキリストの香りを放つようになる。それは自分を変える事です。祈る時イエス様の愛が流れ香りを放たれます。そして、求めていたもの以上の事が与えられるのです。

(要約者:小根久保 伸彦)

(2月12日)